

2022年3月25日(金)
国際芸術祭「あいち」組織委員会
電話：052-971-3111(代表)
内線：724-681、724-702

国際芸術祭「あいち2022」ラーニング・プログラム 「アーティストによる美術史講座4 森村泰昌編」の参加者を募集します

国際芸術祭「あいち2022」では、幅広い層を対象とした様々なラーニング・プログラムを実施します。

このたび、「参加プログラム」のひとつ「アーティストによる美術史講座」(第4回※全4回)の参加者を募集します。本講座は、国際的に活躍するアーティストの視点から「美術史」を読み解いていくレクチャープログラムです。個々の作品についての理解を深めると同時に、作品と作品のつながりを見出し、さまざまな切り口で美術の歴史をストーリーとして読み解く力を養います。

第4回目は1985年以来、何ものかに「なる」という手法でセルフポートレート作品を制作し続けてきた^{もりむらやすまさ}森村泰昌氏をゲストにお迎えし、「『なる』美術史・試論～なってみてわかること」と題したレクチャーを開催します。

なぜ美術史に「なる」のか? 「なる」ことで何がわかるのか? 「なる」という実践のおもしろさとは? こういった問いに対して、これまでの実践を通じてお話しいたします。

記

1 講座の概要(第4回)

- (1) 日時 2022年4月17日(日)午後2時から午後4時まで
(レクチャー90分程度、質疑応答)
- (2) 場所 オンライン(Zoomウェビナーを使ったライブ配信)
- (3) 定員 50名(先着順)
- (4) ゲスト ^{もりむらやすまさ}森村泰昌氏(美術家)
- (5) 進行役 ^{あいだだいや やまもとたかゆき}会田大也、山本高之
(国際芸術祭「あいち2022」キュレーター(ラーニング))

※参加者募集は各回ごとに行います。

※講座内容は毎回完結です。

2 申込方法

国際芸術祭「あいち2022」公式ウェブサイト 「ラーニング」ページ
(<https://aichitriennale.jp/learning/index.html>)よりお申込みください。

申込締切 2022年4月12日(火)午後5時



3 プログラム動画の配信について

実施したプログラムの動画を順次配信していきます。詳細は公式ウェブサイトの「ラーニング」ページ (<https://aichitriennale.jp/learning/index.html>) をご覧ください。

4 ゲストプロフィール

森村泰昌 Morimura Yasumasa

美術家。

1951年、大阪市生まれ。1985年、ゴッホに扮したセルフポートレート写真でデビューして以降、国内外で作品を発表。2014年、ヨコハマトリエンナーレのアーティスティックディレクターを務める。近年の個展に、「森村泰昌：自画像の美術史—『私』と『わたし』が会うとき」国立国際美術館（2016年、大阪）、「森村泰昌：エゴオブスクラ東京 2020—さまよえるニッポンの私」原美術館（2020年、東京）、「M 式『海の幸』—森村泰昌 ワタシガタリの神話」アーティゾン美術館（2021年、東京）。2022年2月に「人間浄瑠璃 新・鏡影奇譚」を大阪中之島美術館ホールにて上演。

2022年3月現在、京都市京セラ美術館で「森村泰昌：ワタシの迷宮劇場」を開催中。2018年、大阪・北加賀屋に「モリムラ@ミュージアム」を開館。著書に、『自画像のゆくえ』（光文社新書）ほか多数。



© Yasumasa Morimura

【参考】「あいち 2022」ラーニング・プログラムについて

- 参加プログラム
 - 一般を対象とした公開プログラム
 - ・ アーティストによる美術史講座
 - ・ 「芸術祭」をひも解く：近代化と万博-オリンピック-芸術祭
 - ・ 愛知と世界を知るためのリサーチ
 - ・ 社会とアートと自分をつなぐプラクティス「勝手に測る、挟まる、抜け出す」 他
- スクール・プログラム
 - 学校関係者（児童生徒・教員等）を対象としたプログラム
- ボランティア・プログラム
 - 対話型鑑賞のファシリテーターや会場案内などのボランティア育成のためのプログラム

5 問合せ先

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局

（愛知県県民文化局文化部文化芸術課国際芸術祭推進室内）

住所 〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター内

電話 052-971-3111 FAX : 052-971-6115

URL <https://aichitriennale.jp/>